

オープンアクセスウィークとは、オープンアクセスの意義などを周知するため毎年10月に行われる世界的なイベントのことです。それぞれの年ごとに、その年のテーマに沿った様々な取り組みが世界各地で行われます。



公式サイト
をチェック!!

<https://www.openaccessweek.org/>

商業化を超えたコミュニティ

Community over Commercialization

October 21-27, 2024
#OAWeek

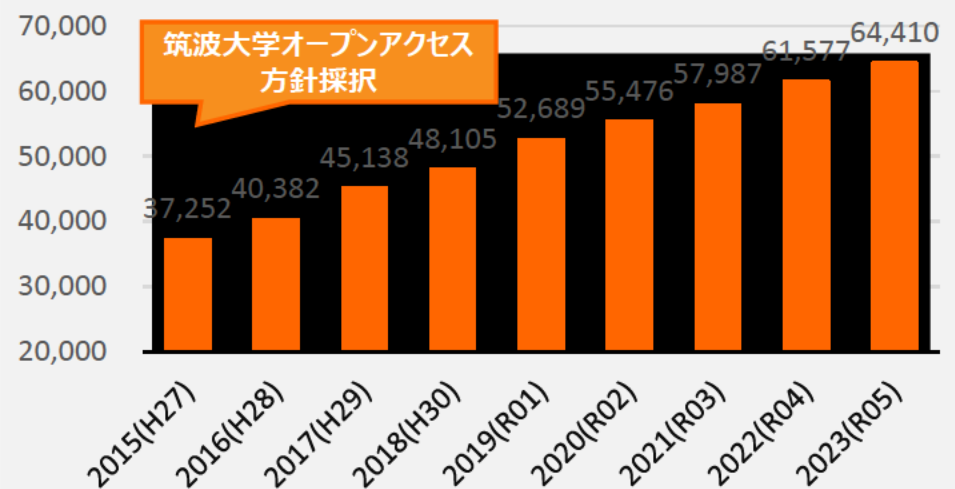
学術情報のオープン化へのアプローチ、最適な手段をそれぞれの立場から考えるきっかけとして、昨年に続き2024年もこちらのテーマが設定されました。これから研究に取り組む皆さんも、既に成果を発表している皆さんも、オープンアクセスのこれからについて一緒に考えていきましょう!!

筑波大学のオープンアクセスへの取り組み

本学では2015年に、国内でもいち早く「筑波大学オープンアクセス方針」を採択しました。この方針に基づく学内研究成果の公開の場として、「つくばリポジトリ」が活用されています。

つくばリポジトリは、筑波大学で生み出された研究・教育成果（学術論文・博士論文・研究報告書・教材など）を永続的に蓄積・保存し、インターネットを通して誰でも無料でアクセスできるように公開する学術コンテンツデータベースです。つくばリポジトリに登録された論文は、Googleなどの検索エンジンや、CiNii Researchなどの各種論文データベースなどからもアクセスできるようになります。

つくばリポジトリ 登録コンテンツ数推移



学術論文等の即時OA義務化



内閣府の統合イノベーション戦略推進会議から、「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が発表されました。これにより、公的資金のうち**2025年度から新たに公募を行う**即時オープンアクセス(OA)の対象となる競争的研究費(→[A])を受給する者は、当該研究費による学術論文及び根拠データ(→[B])の学術雑誌への掲載時点でOA(ゴールドOA)となっていない場合、掲載後**即時に機関リポジトリ等の情報基盤**への掲載を義務づけられます。

[A] 対象となる競争的研究費

- JSPS 科学研究費助成事業
- JST 戦略的創造研究推進事業(一部を除く)
- AMED 戦略的創造研究推進事業
- JST 創発的研究支援事業

[B] 対象となる学術論文及び根拠データ

- 学術論文
電子ジャーナルに掲載された査読済みの研究論文(著者最終稿を含む)
- 根拠データ
掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ



<https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyudx.html>

つくばリポジトリを活用しよう!

基本方針による義務はつくばリポジトリへの掲載による公開(グリーンOA)で果たすことができますので、必ずしも論文掲載料(APC)を払いゴールドOAにする必要はありません。

ただし、出版元から、掲載できる学術論文のバージョン(原稿の版)や公開猶予期間(エンバーゴ)などの条件が課されることがありますので、ご不明な点はリポジトリ担当にお問い合わせください。



<https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>

Japan Institutional Gateway (JIG)を活用しよう!

Japan Institutional Gateway (JIG) は、研究者向けのオープンサイエンス出版ゲートウェイです。

筑波大学をはじめ、アフェリエイト機関に所属する研究者(研究生含む)であれば、誰でも(どの研究分野でも)JIGへ論文を投稿できます。

投稿した論文は、オープンアクセスとなり、公開査読を通過すれば、査読付き主要国際誌に掲載された時と同様に、ScopusやPubMedなどの国際文献データベースに収載され検索できるようになります(分野を問わず、日本語でも公開査読と出版が可能で、英語論文と同じように主要データベースに収載されます)。

Japan Institutional Gateway
Accelerate the impact
of your research



F1000Research

詳しくは、筑波大学
研究情報ポータル
COTRE(コトリ)を
ご確認ください



<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/utgateway>



ハゲタカジャーナルにご用心!

執筆した論文を電子ジャーナルに投稿しようとしている皆さん、そのジャーナルは本当にあなたのためになる良質なジャーナルでしょうか? ひょっとすると、逆にあなたの評判を落としてしまう悪質な“ハゲタカジャーナル(predatory journal)” かもしれませんよ!

OA運動とハゲタカジャーナル

オープンアクセス(OA)運動とは、研究者の書いた査読済み学術論文を無料で公開することを推進する運動です。OAにするための方法としては、研究者自らがリポジトリ等で公開する方法と、著者が論文投稿料(APC)を支払うことにより、学術雑誌を無料で読めるようにする方法があります。

APCの徴収によりOAにする方法は、一つのビジネスモデルとなっており、このモデルを悪用し、大きな利益を上げるのがハゲタカジャーナルです。



ハゲタカジャーナルの問題点は、主に以下のような点にあります。

- × 一般的なOAジャーナルと同様、高額なAPC(数千ドル規模)の支払を要求する
- × 偽査読のため、論文が出版されても学術的信頼性に欠ける

CAUTION!!

あなたの研究への評価、そしてなによりあなた自身の名誉を守るため、投稿先のジャーナルは慎重に選びましょう!

ハゲタカジャーナルへの投稿を避けるには

投稿先を選ぶとき、ハゲタカジャーナルかどうかの判断材料として、以下の特徴がある場合は注意が必要です。

- ✓ ジャーナルの連絡先が記載されていない
- ✓ 編集責任者がはっきりしない
- ✓ 投稿から出版までを異例の短期間で約束している
- ✓ 論文投稿料が明示されていない
- ✓ ジャーナル名が漠然としていたり、有名ジャーナルに酷似している 等



また、下記ホワイトリスト、チェックリスト等も参考にしてください。

ホワイトリスト:

Directory of Open Access Journals (DOAJ) <https://doaj.org/>

Quality Open Access Market (QOAM) <https://www.qoam.eu/journals>

Web of Science <https://mjl.clarivate.com/>

チェックリスト:

Think Check Submit <https://thinkchecksubmit.org/>